



第67回日本臨床検査医学会学術集会 ランチョンセミナー13

当院における診断支援システム（DSS）活用の 現状

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第67回日本臨床検査医学会学術集会においてランチョンセミナーを開催致します。

※本セミナーはハイブリッド方式(現地+オンライン)にて開催いたします。

オンラインでの参加の場合のお申し込み方法は、学術集会のHPをご確認下さい。

(オンライン定員：500名)

日時 / 場所

11月22日 (日) 12:10-13:00

[第1会場] アイーナ7F 小田島組 ☆ほ〜る

〒020-0045 岩手県盛岡市森岡駅西通1丁目7番1号

司会

奥田 忠弘

アボットジャパン合同会社 診断薬・機器事業部

演者

笠原 寛 先生

諏訪赤十字病院 検査・輸血部

[概要]

医療の専門化とともに臨床検査分野でも膨大な検査項目が細分化され扱われるようになってきている。

同時に、基本的な生化学、血清検査等の「数字の読影」が時として各専門科に依頼されてしまい、検査結果の不十分な解釈や過剰（過少）検査に結び付く場合も想定される。その中でDSS（Diagnostic Support System）は、臨床検査部門による専門科や専門科以外への検体解釈情報をアルゴリズムで解釈し提供するシステムとして注目されている。

当院では本システムを2020年4月より導入し、各診療科にリアルタイムで提供して約半年が経過した。その導入経過、現状、臨床医へのフィードバック法、事例等を供覧し、皆様のご意見を賜りたく発表させていただく。

※整理券の配布はございません。

[共催] 第67回日本臨床検査医学会学術集会 / アボットジャパン合同会社